

八女地区の農産物生産販売状況（平成 28 年 12 月現在）

八女市農業振興課

（数値は J A ふうおか八女管内）

本年の農作物全体の状況は、

異常気象（昨年 11～12 月の暖冬、1 月の大寒波、4 月の突風、8 月の猛暑・干ばつ、9 月の長雨・竜巻）等の影響を受け、農作物全体の収穫量が前年比を下回り、果実・野菜全体で平成 28 年度は数量減・単価高にて推移している。

果実全体は、

露地の果実は収穫期を終え、12～3 月の冬場は平成 29 年産に向けた剪定の実施や、植替えの時期となる。

みかん（H28 年産計画 栽培面積 494ha、出荷量 8,650 t、販売高 13.5 億円）

極早生・早生品種を終了し、計画比で出荷量 85%と大きく数量が減少。

普通温州は 3,000t を見込み、集荷については順調である。

1～2 月は、蔵出しみかんの出荷を予定。

ぶどう（H28 年産実績 168ha、1,993t（計画比 91%）、21.4 億円（計画比 97%））

平成 29 年産で 12 月中に早期加温の作型はビニールを被覆。その他の作型は 1 月～2 月にビニールを被覆。29 年 4 月末からの出荷を予定。

キウイフルーツ（H28 年産計画 227ha、4,100 t、19.6 億円）

レインボー400 t、ヘイワード 2,900 t 合計 3,300 t（計画比 80%）と数量が減。

12 月末～4 月のニュージー産の切れ間に、低温貯蔵庫から出庫して、更に追熟をして出荷していく。

ナシ（H28 年産実績 107ha、2,290 t（計画比 88%）、7.7 億円（計画比 86%））

異常気象により、生産量が低下した。主力の幸水は出荷量が減少。豊水も同様に出荷量が減少。

いちご（H28 年産計画 111ha、4,800 t、67 億円）

11 月～収穫が始まったが、9 月の定植時の多雨の影響と、更に 11～12 月の高温の影響で年内収量は例年より下回る見込み。

本年より 1 パック重量を、300 g から 270 g へと全国同様の規格に変更して出荷中。

トマト（H28 年産 25ha、計画 3,500 t、12.4 億円）

大玉トマトは 9 月末～収穫が始まったが、9 月末の大雨の影響による定植遅れ、高温の影響により収穫開始が遅れている。12 月末～1 月にかけての収穫量は多くなる見込み。

なす (H28年産計画 25ha、3,670 t、10.5 億円)

9月下旬～冬春ものの収穫が始まった。当初は、高温の影響で出荷量が落ち込むも11～12月にかけて計画どおりの出荷となった。12月末～本格出荷となる。

菊 (H28年産計画 124ha、5,100万本、28.5 億円)

4月～11月末までは計画どおりに出荷。

八女電照菊として、年始の需要に応じて年末の出荷が増加傾向で順調に出荷中。

茶 (H28年産実績 1,214ha、1,324t(計画比96%)、28.4 億円(計画比95%))

平成28年度のお茶に関しては、集中した出荷となったものの品質は高く、収量は低かったものの単価高にて推移。2番茶も高単価にて推移。

※ H28年産は、H28に収穫がスタートしたものです。H28.11～H29.5収穫の冬春いちごはH28年産となります。

※ 栽培面積、出荷量、販売高は、JAふくおか八女管内の数字です。筑後市、広川町、八女市の3市町合計の数字となります。

※ 販売を終えた作物は実績数字。販売中の作物は計画数字としています。

※ 主な農産物として、約10億円以上の販売高の作物の状況を報告しました。

※ 4半期毎に農産物生産販売状況を報告する予定です。

《問合せ先》

八女市役所 建設経済部 農業振興課 農産園芸係

TEL 0943-23-1118 (FAX 0943-23-5411)

福岡八女農業協同組合 営農指導部 園芸指導課

TEL 0943-23-1163 (FAX 0943-23-1243)